
「顎骨骨折と頭部外傷の関係について」に関するお知らせ

このたび、当院で顎骨骨折の外傷の重症度を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2011年1月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、顎顔面骨折と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

顎骨骨折の患者が併発する頭部の外傷、全身の関連外傷の検索をすることで、顎骨骨折が頭部外傷に与える影響の解明に役立つと考えます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2022年4月7日開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテ番号を用い、

1:年齢、2:性別、3:受傷原因、4:既往歴、5:内服薬、6:飲酒の有無、7:手術の有無、8:入院期間、9:顎骨骨折の部位、10:骨折線数、11:頭部外傷の部位、12:全身的な関連外傷の部位、13:スケール分類[Glasgow Coma Scale(GCS)、Abbreviated Injury Scale(AIS)、Injury Severity Scale(ISS)、Facial Injury Severity Scale(FISS)、Mandibular Injury Severity Score(MISS)]を診療録使用し、後方視的に調査検討します。

また、受傷に関連する口腔内の状態(義歯装着有無・歯牙損傷の有無・インプラント埋入部位)も調査します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である山田美喜が、管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

顎骨骨折と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

総合医療センター歯科口腔外科	歯科医師	助教	山田美喜
総合医療センター歯科口腔外科	歯科医師	准教授	日野峻輔
総合医療センター歯科口腔外科	歯科医師	講師	飯島洋介
総合医療センター歯科口腔外科	歯科医師	教授	金子貴広
総合医療センター歯科口腔外科	歯科医師	客員教授	堀江憲夫
総合医療センター高度救命救急センター		教授	澤野誠
総合医療センター救急科(ER)		准教授	中村元洋
総合医療センター高度救命救急センター		講師	村瀬真

4. 試料・情報の管理責任者

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う

【埼玉医科大学総合医療センター】 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 山田美喜

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3687（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：顎骨骨折と頭部外傷の関係について

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 歯科口腔外科 山田美喜